

OPTiM Biz Android機器のアカウント登録 変更説明資料

株式会社オプティム

バージョン	更新日	更新内容
1.0	2026/1/8	初版を掲載しました。

目次

1. [本資料の目的](#)
2. [バージョンアップ日程](#)
3. [対応内容一覧](#)
4. [アップデート対象のアプリ一覧](#)
5. [概要-Googleが提示するアカウント管理の将来](#)
6. [OPTiM Biz Android Enterprise機器登録手順の変更点](#)
7. [アップデート後の作業](#)

- OPTiM Biz ver.10.4.0にて、Googleの仕様変更追従のため、**Android EnterpriseにおけるAndroidの機器アカウント登録方法を変更します。**

本資料は、変更点についてご利用者もしくはパートナーの皆様にご理解いただくことを目的としたものです。

- 本資料読了後、「この変更点はなぜあるのか、目的はなにか、どのようなユースケースを想定するか」等が分かることを重視して記載をします。

□ バージョンアップ日程

- 対象：管理サイト
2026年2月8日(日)10:00-18:00の間
- 上記時刻の間でメンテナンスのため、5時間程度、管理画面の表示および機器の同期できなくなります。
- また上記時間中に管理サイトへのアクセスがあった場合「メンテナンス中もしくは回線混雑によりただいまアクセスできなくなっております。」のメッセージが表示されます。

- バージョンアップ内容をご利用のお客様は、該当のアプリをアップデートしてください。

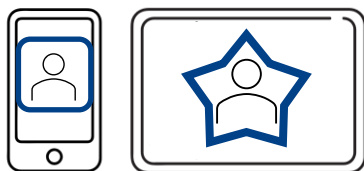
OS	対象アプリ	バージョン
Android	ストア版Androidエージェント	10.4.0

概要-Googleが提示するアカウント管理の将来

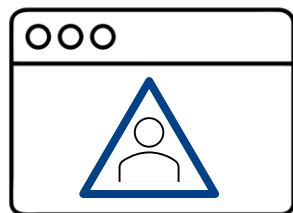
- Googleのビジョンでは、現状Googleの複数のサービスでバラバラに登録されているIDを、**包括的に1つのIDで複数のデバイス/サービスを利用できるようにする**のがゴールです。
- 今回の変更はこのための1ステップで、端末管理に利用するアカウントが**企業ドメイン**に紐づいたものになります。

Googleのサービスのアカウントの現状

Android端末用のID



Chrome OS用のID

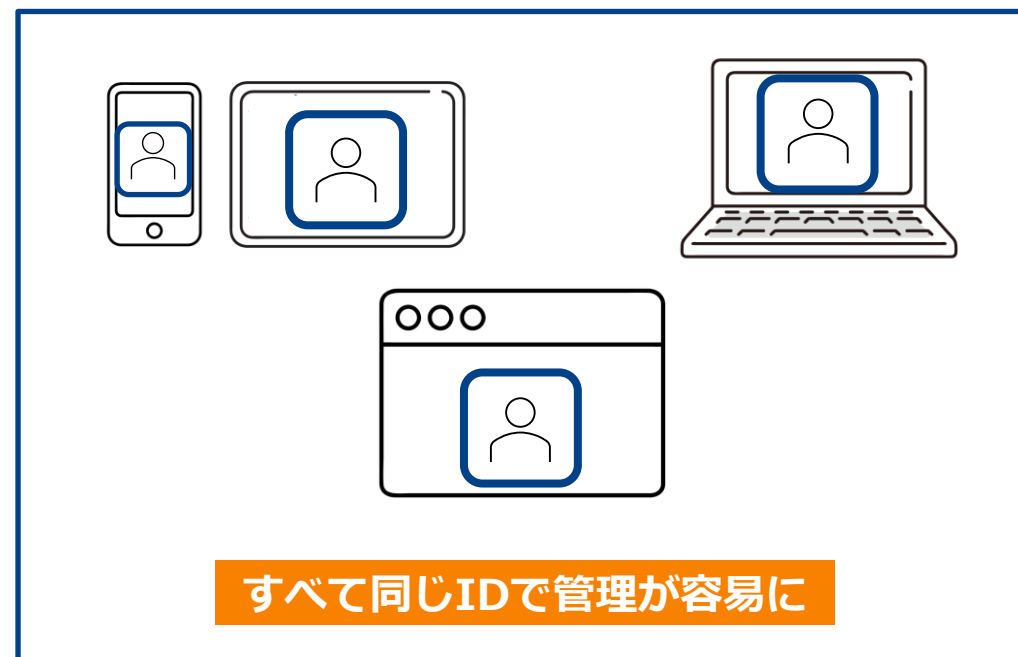


Google Chrome
(ブラウザ)用のID

IDがバラバラ...



Managed Google アカウント



□ Managed Googleアカウントとは

- 企業ドメイン（例：xxx@company.co.jp）を使ったGoogleアカウントのうち、企業ドメインの管理者が管理しているアカウントです。
- Android端末に紐づけられるほか、**Google Chrome**や**Gemini**などの**Googleサービス**でシームレスに利用でき、管理工数を削減できます。
- Managed Googleアカウントを利用するメリット
 - ◆ 各種Googleサービスに仕事用のアカウントでログインして利用することができます。
 - ◆ ブックマークや連絡先などのGoogleサービスを複数のデバイス間で同期することができます。
 - ◆ クロスデバイス機能を利用することができます。

□ 端末管理運用における変更点

- Android Enterpriseを利用して端末を管理する場合、これまでは「Managed Google **Play** アカウント」とよばれるランダムなアカウントが作成される仕組みでした。
- 今後は、個別の端末利用者と直接紐づく「Managed Google アカウント」を、機器に紐づけて管理できるようになります。

□ Managed Googleアカウントの利用方法

- [Google Adminコンソール](#)よりGoogle認証の有効化、ドメイン所有権の証明、ユーザーの作成が必要です。
詳細は[こちらの頁](#)をご確認ください。
※Google Workspaceをご利用の場合、従来のユーザー管理から変更はありません。

□ この変更によるOPTiM Bizの利用への影響

- 2024年2月18日以後に「企業ドメインのメールアドレスを用いたAndroid Enterprise企業登録※注1」を行っている場合、Managed Google アカウントを機器に登録するフローが追加されます。従来のフローも引き続きご利用いただけますが、一部手順が追加になります。

◆ 推奨フロー

- **Android Enterprise企業登録:企業ドメインのメールアドレスを用いた企業登録**
- **キッティング時のアカウント登録:Managed Googleアカウント**

◆ 従来のフロー

- Android Enterprise企業登録:Gmailアカウントを用いた企業登録 または 2024年2月18日以前に行った企業登録
- キッティング時のアカウント登録:なし（自動でManaged Google Playアカウントが追加されます）

※今後、従来のフローを利用している場合でもManaged Googleアカウントにアップデート可能になる予定です。

- Google Workspaceアカウントでのキッティングフローに変更はありません。

注1：企業ドメインのメールアドレスを用いたAndroid Enterprise企業登録手順

※Microsoft IDアカウントを用いた登録も含みます

- [Androidキッティングマニュアル 3.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合](#)
(または3.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合)

アカウント登録方法



Google推奨

企業ドメインのメールアドレスでAndroid Enterprise企業登録している



Managed Google
アカウント登録
(新規フロー)

Gmailで企業登録している
または2024年2月18日
以前に企業登録している



Managed Google Playア
カウント登録

※今後移行が必要になる可能性があります

Google Workspaceを
利用している



Google Workspace
アカウント登録
(既存フロー)

□ 企業登録アカウントの確認方法

■ サービス環境設定 > Android Enterprise（企業アカウント登録）

- ◆ 「アカウント種別」がGoogle Workspaceアカウント
⇒ Google Workspaceによる企業アカウント
- ◆ 「アカウント種別」がGoogleアカウント かつ
 - 「アカウントメールアドレス」欄が表示されている
⇒ 従来の（企業ドメイン以外の）企業アカウント
キッティング手順は[こちら](#)
 - 「アカウントメールアドレス」欄が表示されていない
⇒ 企業ドメインのメールアドレスを用いた企業登録
キッティング手順は[こちら](#)

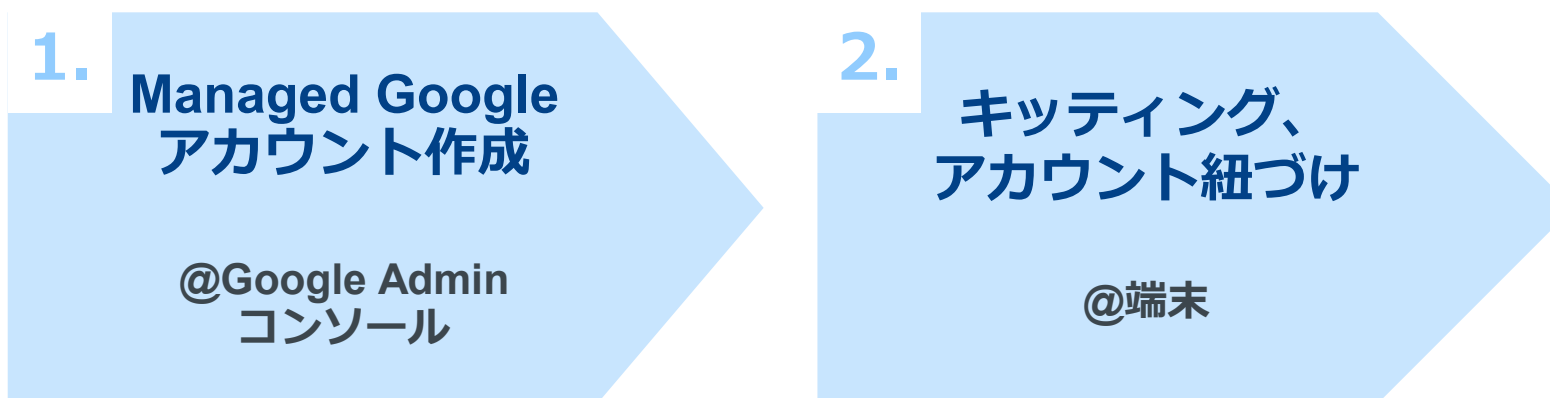


OPTiM Biz Android Enterprise機器登録 手順の変更点

Managed Googleアカウントを使った アカウント登録の場合

□ 全体手順

- キットティングの前に、Google AdminコンソールでManaged Googleアカウントを作成する必要があります。



※最新情報はGoogleのドキュメントをご確認ください。※

□ Managed Googleアカウント作成手順（Google Adminコンソール）

1. Google認証の有効化を行います。
デバイス > モバイルとエンドポイント > 設定 > サードパーティとの連携 >
[サードパーティの Android モバイル管理を有効にする] チェックボックスをオンにします。
2. その下の「EMM プロバイダを管理」を押下すると、
OPTiM Bizに企業ドメインでAndroid Enterprise
企業アカウント登録をしている場合、
この画面に「OPTiM Biz」が表示されます。
「Googleを使用して認証する」トグルをONにします。
3. ドメイン所有権の証明を行います。
アカウント > ドメイン > ドメインの管理
> 「ドメイン所有権の証明」をクリック
画面の指示に従って登録を行ってください。
 - [Googleドキュメント](#)



※最新情報はGoogleのドキュメントをご確認ください。※

□ Managed Googleアカウント作成手順（Google Adminコンソール）

4. 以下のいずれかの方法で端末ユーザーのManaged Googleアカウントを作成します。

- Google Adminにユーザー情報を入力する
- CSVで入力する



⚠ 管理対象外のアカウントを管理対象にする

Google Adminで管理者がアカウントを作成する前に、企業内のユーザーが独自に企業ドメインを使用してGoogleアカウントを作成していることも多いです。その場合、移行ツールを使って管理対象アカウントにアップグレードすることができます。

詳細はGoogleドキュメントをご確認ください。

<https://support.google.com/a/answer/11112794?hl=ja>

Managed Googleアカウントを使ったアカウント登録方法（4/6）

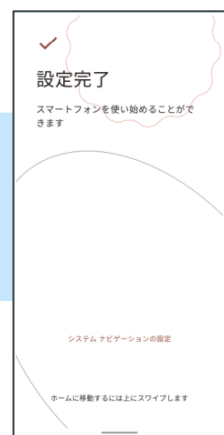
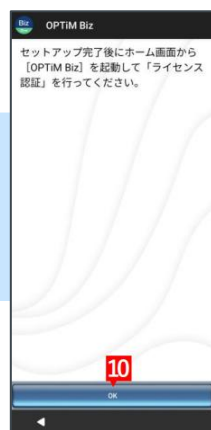


□ 端末側手順

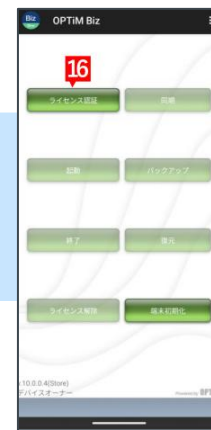
1. これまでのAndroidキッティングフローと同様にキッティングを進めます。



afw識別子、
QRコードなど
任意の方法で
キッティング



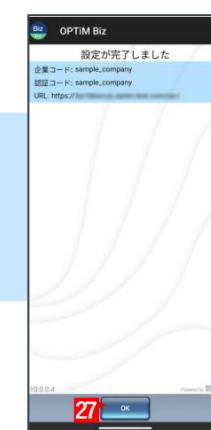
OPTiM Biz
エージェントを
立ち上げます



権限の許可



ライセンス入力



設定の完了

□ 端末側手順

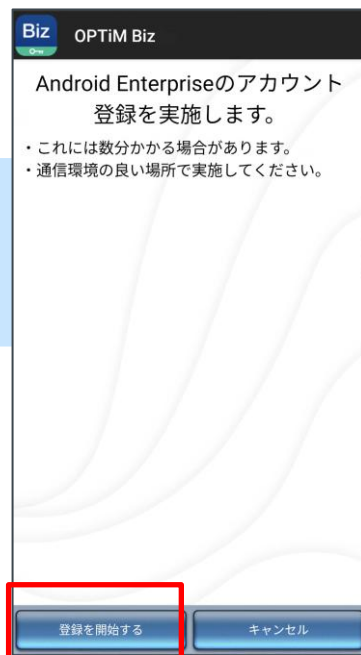
2. OPTiM BizエージェントにGoogleアカウントを登録します。

New !



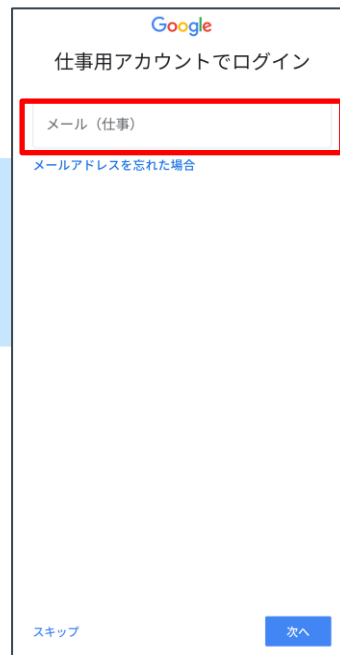
メニューボタン→
「Android Enterprise
アカウント登録」を押下

New !



「登録を開始する」
を押下

New !



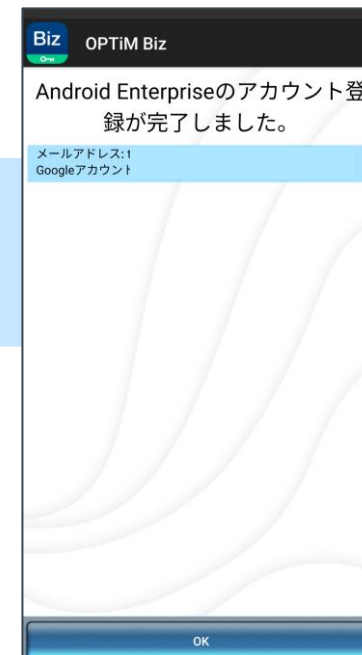
作成したManaged
Google アカウント
を入力

New !



「同意する」を押下

New !



「OK」を押下し、
登録完了

□ 注意点

- 先にGoogle管理コンソール上でManaged Google アカウントを作成してから、端末にManaged Google アカウントを紐づけてください。
- 管理サイトでのAndroid Enterprise 企業アカウント削除またはGoogleコンソールでの組織削除を行った場合、端末の初期化、再キッティングが必要になります。
- 本バージョンアップ以前に端末をキッティングし、端末をOPTiM Bizユーザーと紐づけている場合には追加の手順は不要です。
本バージョンアップ以前に端末をキッティングしたが、**端末をOPTiM Bizユーザーと紐づけていなかった場合には「[Managed Googleアカウント作成](#)」および「[2.OPTiM BizエージェントにGoogleアカウントを登録します。](#)」の手順を行ってから、端末にユーザーを紐づけてください。**
- 「Android Enterprise アカウント登録」中にGoogleのセットアップ用のアプリケーションが端末にダウンロード、インストールされるため空き容量が50MB以上空きがある状態で操作してください。
- 「Android Enterprise アカウント登録」は登録完了まで1~5分程度かかります。通信状況の悪い環境ですと登録が失敗する場合があります。その場合、通信状況の良い環境で再度アカウント登録を行ってください。
- 何らかの理由でAndroid Enterpriseアカウント登録が失敗した場合は、Android Enterpriseアカウント登録失敗画面が表示されます。時間をおいて再度試行してください。
- ライセンス認証時に認証コードのQRコードを読み取る場合は、カメラの権限を「アプリの使用時のみ許可」にしてください。
※「今回のみ」にすると、まれにクラッシュする事象が確認されています。
- 端末の「設定」アプリからManaged Google アカウントを削除しても別のアカウントを再登録することはできません。
端末を初期化していただき、再度キッティングを行う必要があります。

従来のフローを利用する場合 (Managed Google Playアカウントを 使ったアカウント登録)

□ 端末側手順

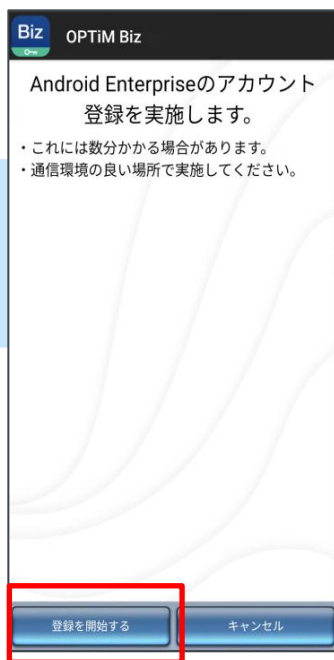
2. OPTiM BizエージェントにGoogleアカウントを登録します。

New !



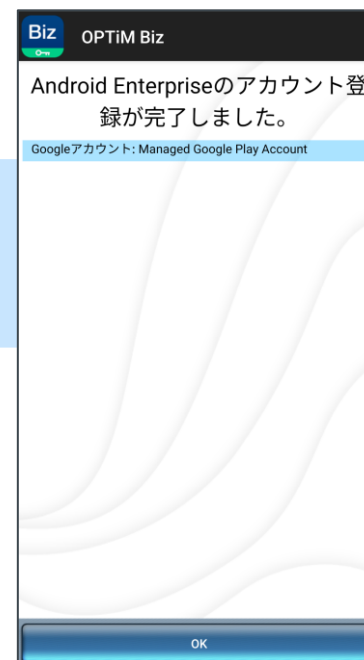
メニューボタン→
「Android Enterprise
アカウント登録」を押下

New !



「登録を開始する」
を押下

New !



自動でアカウントが
割り振られるので、
「OK」を押下し、
登録完了

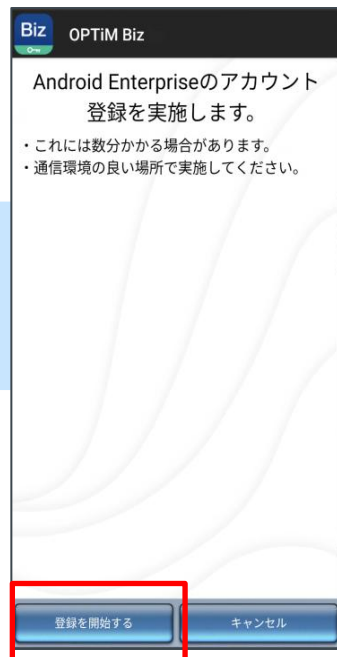
□ 端末側手順

※Goole管理コンソールで「[Googleを使用して認証する](#)」をONにしている場合のみ

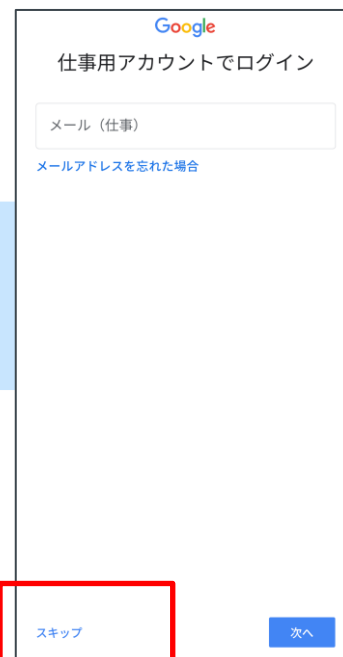
2. OPTiM BizエージェントにGoogleアカウントを登録します。



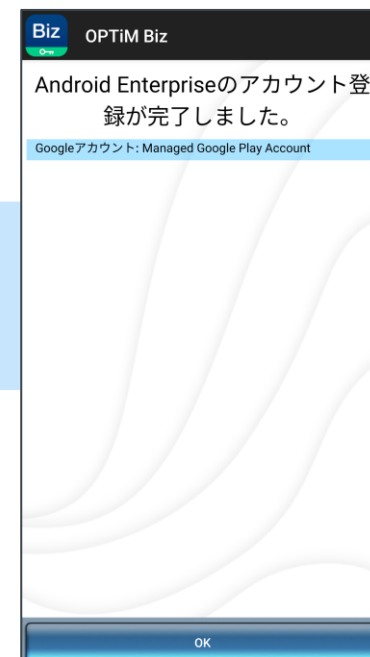
メニューボタン→
「Android Enterprise
アカウント登録」を押下



「登録を開始する」
を押下



「スキップ」を押下



自動でアカウントが
割り振られるので、
「OK」を押下し、
登録完了

□ 注意点

- 本バージョンアップ以前に端末をキッティングし、端末をOPTiM Bizユーザーと紐づけている場合には追加の手順は不要です。
本バージョンアップ以前に端末をキッティングしたが、**端末をOPTiM Bizユーザーと紐づけていなかった場合には前ページ「[2.OPTiM BizエージェントにGoogleアカウントを登録します。](#)」の手順を行ってから、端末にユーザーを紐づけてください。**
- 以下の既存制約が変更になります。
 - ◆ Managed Google Play アカウントの有効期限切れなどでGoogle Play ストアからログアウトされた場合、端末を再認証する必要がある
 - 再認証は不要になり、以下の手順で解消されます。
 1. [設定] アプリからManaged Google Playアカウントを削除
 2. エージェントのメニューから「Android Enterpriseアカウント登録」を再度押下し、アカウント登録を実施



□ 注意点

- アカウントの種類問わず、一つの端末に複数のアカウントを登録することはできません。1つのアカウントを紐づけた後、「Android Enterprise アカウント登録」メニューは非活性になり、そのアカウント自体が削除されるまで再度登録は行えなくなります。登録するアカウントを切り替えるには端末を初期化する必要があります。
- 端末側の設定にてアカウントを削除した場合、従来と同じく再キッティングする必要があります。これまで通り、DOMセキュリティ > 「アカウントの追加と削除」：「禁止」を適用する運用を推奨します。
- アプリケーション非表示またはアプリケーション禁止設定を適用しており、「Device Policy (com.google.android.apps.work.clouddpc)」のインストールが許可されない状態になっていると、キッティングが正常終了しません。許可アプリに追加するか、設定を一時的に外していただくようお願いいたします。
- 管理サイト > Android Enterpriseアプリケーション配信設定/企業アプリ登録などで表示される「アカウントアップグレード」から企業アカウントをアップグレードした場合、新規キッティング時にManaged Googleアカウントの登録が行えるようになりますが、それまでに登録した機器はManaged Google Playアカウントのままになります。



本バージョンリリース後の作業

Android

Androidエージェントおよび関連アプリをユーザーによってGoogle Playより手動でアップデートしていただくか、管理者によりmanaged Google Playを利用し、端末へ配信してください。

managed Google Playをご利用の場合、該当アプリの企業許可操作が必要です。次頁に手順を記載しております。

Android(専用デバイス)で利用しているAndroid Device Policyは自動的にアップデートが行われるため、必要な操作はありません。

managed Google Playを利用してAndroidエージェントや関連アプリをアップデートする際は下記の通りです。

□ Google Playより手動でアップデートする場合

- こちらは、管理されているAndroid端末上のGoogle Play Storeから、端末ご利用者様ご本人にて当該アプリを検索し、インストールする方法です。
- 詳細手順はGoogle提供のヘルプが参考になります。
- <https://support.google.com/android/answer/9457058?hl=ja> > 「Google Playからアプリをダウンロードする」

□ managed Google Playを利用して端末へ配信する場合

- こちらは、Android Enterpriseの機能を利用して、管理サイトから端末へアプリを配信する方法です。
- （１）インストール可能なアプリを特に制限しない設定、（２）企業が許可したアプリのみインストール可能になる設定、（３）管理サイトで指定されているアプリのみインストール可能になる設定（※この設定ではサイレントインストール可能）の３種類の設定があります。
- いずれも、管理サイトリファレンスマニュアル 7.5.6 「Android Enterprise／アプリケーション配信」に詳細手順を紹介しております。

□ managed Google Playの承認操作

- こちらは、上記において（２）、（３）の設定を利用するために必要な手順です。
- 詳細な手順は、管理サイトリファレンスマニュアル 7.5.8 「Android Enterprise／企業許可アプリ」をご参照ください。

